

安部邦昭先生 プロフィール

分野	景観生態学、市民参加、まちづくり
現職名	NPO 法人都市づくり NPO さいたま 理事 一般社団法人埼玉を食べる 代表理事 NPO 法人生態工房 理事長 エバーグリーン・プランニング 代表 さいたま百景選定市民委員会 事務局長
アドバイス できる分野	地域の中での生物多様性の現状の評価と計画づくり、市民参加による生きもの の調査、街中での生きものの生息環境づくり、ドローンやGIS（地理情報シス テム）を用いた地形・景観の評価・解析など
経歴等	1996年 日本大学農獣医学部林学科 卒業 1998～2006年 株式会社 生態計画研究所 研究員 2002年～ NPO 法人都市づくり NPO さいたま 理事 2002年～ NPO 法人生態工房 理事長 2002～2005年、2015年～ さいたま市環境審議会 委員 2005年～ さいたま市環境会議 副会長 2007年～ さいたま百景選定市民委員会 事務局長 2007年～ さいたま市市民活動サポートセンター スタッフ 2010年 さいたま市生物多様性地域戦略検討専門委員会 委員 2011年～ さいたま子どもエコ検定委員会 委員 2012年～ 大宮経済新聞 デスク 2016年～ ポタジェ～食べる通信 from 埼玉～ 編集長
活動実績	国土交通省（旧建設省）の研究所とともに、生態ネットワーク計画立案のため の評価手法及び計画立案手法の開発に携わりました。同時に、地域の生物多様 性を保全するために欠かせない市民参加を深化させる、市民参加型生きもの調 査手法の開発にも携わりました。 その結果を基に、さいたま市で 2008 年にさいたまカエル大調査を実施、その 実績なども踏まえてさいたま市生物多様性地域戦略検討委員会の委員などを 務めました。 また、市民の自由な視点からさいたま市らしい風景を選定するさいたま百景選 定市民委員会の事務局長を務め、さいたま百景の選定～出版を行いました。現 在は、百景の巡回ツアーや新しい景観資源の発掘などを行っています。 埼玉県景観行政連絡会議と埼玉県が設置していた「埼玉県景観資源データベー ス」の立ち上げから管理までを担当しました。 2013 年からは、埼玉県景観行政連絡会の研究会にてワークショップの企画を担 当しています。
ホームページ	http://www.tsukutama.info
先生から一言	景観というと、見た目の風景として捉えられがちです。そこで、生きものを目 から景観を評価することで、その土地の地勢、風土、気象、歴史など、その景 観が成立している背景情報を読み取ることができます。 歴史、文化、市民活動など、形として目に見えにくいものを「見える化」する ことで、景観のもつ意味合いは大きく変わってくると思います。そんなお手伝 いできればと思っています。